

# Economic Indicators

定例経済指標レポート

指標名：景気動向指数（2011年2月）

発表日：2011年4月6日（水）

～基調判断は上方修正されたが、3月分ではC Iの大幅低下が必至～

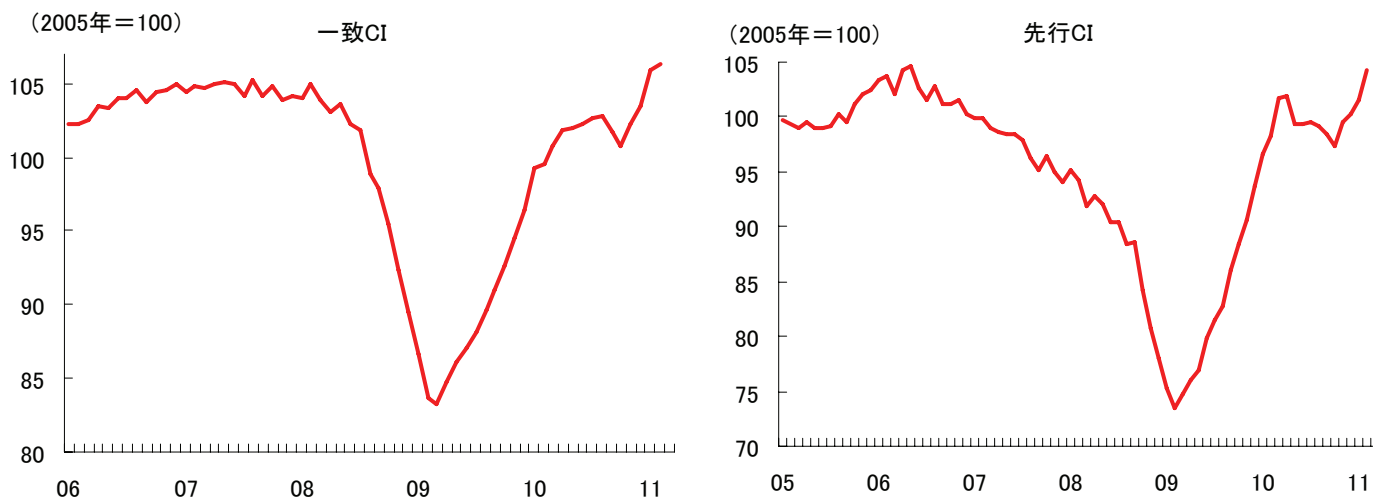
第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 主席エコノミスト 新家 義貴  
TEL:03-5221-4528

## ○ 基調判断は上方修正だが・・・

本日内閣府から公表された2011年2月の景気動向指数では、C I一致指数が前月差+0.4ポイントと、4ヶ月連続で上昇した。2月の段階では景気が着実に持ち直していたことを示す結果である。内訳では、中小企業売上高などがマイナスに寄与する一方で、投資財出荷指数や商業販売額指数（卸売業）、有効求人倍率などが押し上げた。

内閣府によるC I一致指数の基調判断は「改善を示している」となり、1月の「足踏みを示している。ただし、C I一致指数の3ヶ月後方移動平均が2ヶ月連続で上昇するなど改善に向けた動きもみられる」から上方修正された。基調判断の上方修正は二ヶ月連続である。日銀や政府が景気判断の下方修正を検討するなかでの上方修正には違和感を覚える向きもあるかもしれないが、今回の上方修正は、あくまで2月分までのC I一致指数に対して機械的に基調判断を行ったものである。震災発生以降の状況も踏まえて判断する日銀や政府の景気判断とはやや性質が異なる。

いずれにしても、今回公表された2月分の結果は震災前の統計であり、先行きを見る上でのインプリケーションには乏しい。3月分のC I一致指数は大幅低下が必至の情勢であり、2月まで続いていたC Iの改善傾向はストップする可能性が高いだろう。



(出所) 内閣府「景気動向指数」